

8/18 渡辺先生ご指導

渡辺先生のご指導は4回しかないなので、1回々々のご指導が大切である。無駄にしてはならない。8/18の練習を録音したので、再生しながら要点をメモしてみた。当日練習を欠席した方は、これを見て、自学していただきたい。練習に参加した方は、思い出して指摘されたことを確認していただきたい。パートリーダーの方は、パート練習の参考にいただきたい。次回の渡辺先生の練習には、おなじことを指摘されるようなことは無しにしたいものである。

ソプラノ

Magi viderunt stellam

- ・(1~18小節) 歌い方はとても良い。もう少し表現があればもっと良い。
- ・29小節 スラーの中の同じ母音で、同じ音が続くところは、タターと際立たせること。

Senex puerum portabat

- ・出だし “Senex” の e の歌い方が暗い。もっと前に響かせて。
- ・4小節 “por-” で D 音がオクターブ上がると急に強くなる。高い音と低い音のバランスを考えて。
- ・17小節 “se-nem re-” までは良いが、次の “-ge-” の E 音で力が抜ける。息を保て。
- ・24~25小節 “se-nem re-ge-” の音があやしい。
- ・“senem” の e の音が暗い。
- ・41~44小節 前に言ったように、スラーの中の同じ母音で同じ音が続く場合は、くっきりと際立たせる。

O quam gloriosum

- ・40~41小節 低く聞こえる。要注意。

アルト

Magi viderunt stellam

- ・(5~18小節) 無表情。星を見てびっくりしているわけだから、そういう表情が欲しい。
- ・41小節 “-ra-” の C 音は相当高めにとること。

Vere languores

- ・34~35小節 “cla-vos” の音が安定しない。
- ・67小節 “-mi-” から遅くする。

Ave Maria

- ・最初の “Ave Maria” はアルトが歌う。
- ・出だしの “A-ve Ma-” は速く、“-ri-a” はゆっくりと。
- ・6番目の音の C 音は思いっきり高めに歌う。

Senex puerum portabat

- ・ “ipsum quem genuit” のパターンは 46～47 小節と、48～49 小節とで違うので要注意。

テナー

Magi viderunt stellam

- ・ 10 小節 細かい動きを揃えるように。
- ・ “et inquiramus” は 40～41 小節と 44～45 小節ではパターンが違うので要注意。
- ・ 76 小節以降 動きに余裕が欲しい。アルトとベースの動きを良く聞いて、うまくきざむこと。

Vere languores

- ・ 48 小節 “-na,” の E 音があやしい。
- ・ 53 小節 “-re” の D 音があやしい。
- ・ 64 小節 テナーの動きのあるところで遅くなるな。テンポを落とすのは最後の 2 小節。

Senex puerum portabat

- ・ なめらかに
- ・ 46 小節 “genuit” は跳ねるな。
- ・ 51 小節 “-o-” の Ais 高めに。忘れるな。

O quam gloriosum

- ・ 23～27 小節 “omnes Sancti” のリズムのズレを正確に。

ベース

Magi viderunt stellam

- ・ 22 小節 E 音は高めに。
- ・ 23～24 小節 “Hoc signum” は言葉がモヤモヤしているので、はっきりと。
- ・ 32 小節 “e-” の D 音があやしい。
- ・ 33 小節 C、H の高い音は、声を張らないで軽く歌え。
- ・ 34 小節 “e-” の A 音もあやしい。
- ・ 40 小節 4 声で合わせたとき、入り方が揃っていない。
- ・ 67 小節 “-lu-” の Fis 音は高めに。
- ・ 72 小節 “-lu-” は^レが付いて F 音。67 小節とは違うので要注意。

Vere languores

- ・ 最初の “Ve-” の発音、薄っぺらになるな。
- ・ 39 小節 “quae” の発音あやしい。

Senex puerum portabat

- ・ 出だしの低い音、上顎にどれだけ響かせられるかが大切。
- ・ 10 小節 “por-ta-” で高い音に移ったときに急に大きくなる。滑らかに上がること。
- ・ 10 小節 “-bat” の H 音があやしい。しっかりと欲しい。

- ・ 10～11 小節 スラーの中、跳ねるな。
- ・ 31 小節 “peperit” の “-rit” が低い。
- ・ 39 小節 “et” の H 音が取れていない。

全体

Magi viderunt stellam

- ・ “diserunt” の “-se-” の読み方は“ゼ”。濁る。

Vere languores

- ・ 終りのテンポを遅くするのは、最後の 2 小節に入ってから。

Senex puerum portabat

- ・ “mansit” の “-si-” の読み方は“シ”。濁らない。
- ・ 5 曲の中で、Senex が一番遅れている。

O quam gloriosum

- ・ 出だしの“O”は“quam”の前で切る。ただし、非常に短く。
- ・ 37～45 小節 “sequuntur Agnum” が噛み合わない。
- ・ 55～56 小節では遅くしない。テンポを落とすのは最後の 2 小節。

全般

- ・ 大切なことは、サインを待っていないで、タイミング良く音を追うこと。例えば、ソプラノが“Ma-gi-vi-”と歌ったら、テナーはタイミング良く“Ma-gi-vi-”と追う。アルト、バスも同じ。音の受け渡しに神経をさえ。

ソプラノ

高い音はきれいにでているので、下っていくときに、それをどう保つかが課題。息をうまく使うことを考えて欲しい。

アルト

全体に音が落ちている。

男声

もっとパート練習を。

以上

(文責：広瀬 弘)